

意見交換会実施報告書（地区コミ単位）

【2班】

| | | | |
|--------------|------------------------------|------|--------|
| 地区コミ | 峰山地区コミュニティ協議会 | 参加人員 | 40人 |
| 開催日時 | 平成26年 8月 4日（月） 19:00 ～ 20:30 | | |
| 開催場所 | 峰山地区コミュニティセンター | | |
| 出席議員 （担当） | 議員名 | 出欠 | 担当 |
| | 佃 昌樹 | ○ | |
| | 大田黒 博 | ○ | 司会 |
| | 井上 勝博 | ○ | 記録・報告書 |

意見交換の内容

（凡例 ◆地区の意見 ◇議員の意見）

1 高江水田 300ha（300 町歩）の圃場整備の推進と集約化について

《意見交換の概要》

- ◇ 徳田会長が中心になって、国会議員、県議会議員を招いて意見交換したと聞いた。これまで圃場整備がなかったと聞いている。農地中間管理事業が始まる。しかし、機構はお金がないところ。100%の地元同意がないとだめ。借りっぱなしではだめ。農業委員会、農政課はしっかり説明したいと言っている。議会としてもしっかりバックアップしていきたい。
- ◇ 未登記の土地がある限り圃場整備は難しい。未登記の土地をどうするか。行政書士で簡略化した登記ができる方法が考えられている。畦をとり除くやり方も考えている。
- ◆ 圃場整備の意見交換。未登記の問題は高江だけではない。農地の整理されたところが少なく湿地地帯が多い。農地が足りない地域もある。合併してから総合運動公園や川内駅に力を入れているが、原発立地地域でありながら水田に関しては改良されていない。平成 26 年からの 5 年計画である地域振興計画の中で圃場整備が書かれている。コミュニティ課で地域振興計画をみて農政課と協議していただきたい。
- ◆ 20 年ほど前に圃場整備をやろうという話があり、市役所の職員がきた。当時は 10 万円の自己負担。20 町歩も作っている若者がいる。子孫にきれいな田んぼを残したい。祁答院は素晴らしい田んぼである。
- ◇ 農業委員会事務局長を窓口にして説明をするということだった。300 ヘクタールで 60 億円、市の負担が 6 億円。将来の設計図をつくってもらって当局と交渉を。

《主な要望等》

- ◆ 圃場整備への市の支援をしてほしい。

2 手づくり自然観光公園柳山アグリランド事業への支援について

《意見交換の概要》

- ◇ 議会も手づくり自然公園に注目している。当初、全国から研修に来た。コミュニティビジネスがある。6 次産業化をめざしている。手づくりの自然公園なので、自己資金で経営をしていることが全国的なモデルになっている。アグリランドは 2500 万円かかっている。周辺にもお金が入っている。観光・シティセールス課と、補助金についてはコミュニティ課と話をした。

観光・シティセールス課は、いろんなテーマの中でアグリランドをどのように取り入れて

いくつかを模索検討している。うまく取り入れて観光の商品にならないか検討をしている。

地域の住民と話し合うと課長が言っている。観光面について話す機会があるだろう。

コミュニティ課としては、補助金はどこでも一律にするとのこと。コミュニティビジネスは、年200万円で、3年間600万円の補助金がある。レストランの計画を提出すれば検討する。アグリランドは議会でも質問されている。当局の回答を是として認めてきた。今後の問題についてどういう展開をしていけばいいのか情報不足。

◇ いっしょに考えていきたい。

《主な要望等》

◆ アグリランドの維持管理を市が支援してほしい。

3 薩摩川内高江インター周辺への「道の駅」などの設置について

《意見交換の概要》

◇ 道の駅が欲しい、風車を含めたまちづくり、コンビニがないなどの要望であるが、当局は考えていない。水引から鹿児島までの西回り自動車道が開通するので客の流れがポイント。年間3万人の客の流れ。太陽光発電が計画されている。樋脇には道の駅があるが、売上が多いとは言えない。民間の力を借りて道の駅ができればいい。

◆ 定住促進部会、道の駅部会、イベント部会など3つの部会で視察をして来た。仕入れ、加工問題などが課題。コンビニをするのがいいのではと考えている。道の駅がいいか、コンビニがいいか考えている。

◇ 樋脇の遊湯館は、わずかな利益しかない。赤字ではないが、黒字もたいしたことはない。一つのモデルと考えてほしい。

◆ コンビニは利益の3割が本社に持っていかれる。経営者の儲けは1割しかない。道の駅をつくるのはいいが、働く人のことも考えないといけない。

◇ 道の駅は、市は考えていない。バイパスの計画があるので、バイパスとの関係で方向性を考えたらいいのではないか。

◆ アイディアではないか。場所は交差するところ、途中で休憩できるところではないか。宮里のコンビニはすごいラッシュ。昼間でも野菜を買う人が多い。高江で腹ごしらえをすれば。原電の仕事がいつまであるか知らないが。高江の米を使ったアイディア。つくる方向に持って行って欲しい。

◇ その通りだと思う。何とかしてアイディアを出せば。祁答院にはロード51があるが、市は廃止の方向で進めており住民から相談を受けている。

◆ インターチェンジができれば人が増えるのではないか。

◆ 大型観光バスが停まる物産館がない。高江につくろうではないかと提言したが、却下された。蓬莱館にとられている。市からは絶対につくらないと言われ、興ざめした。

◇ 市はつくる意思はないというが、思いを伝えたい。

夢は持ち続けたい。手づくりの道の駅からスタートしたらいいのではないか。

《主な要望等》

◆ インターチェンジができれば交通量も変わるので、地域振興のために「道の駅」「コンビニ」等をつくってほしい。

4 その他

《要望等》

(1) 原発の再稼働について

- ◆ 千葉から帰って来た。原発の再稼働問題で一番関心が高い。どこへ逃げたらいいのか。住民の不安をどう考えているのか。全国から注目されている。使用済み核燃料をどこに持って行くのか。不安、心配がある。市議会議員は何を考えているのか。再稼働についての不安にどう答えるのか。住民のために命をかけてほしい。
- ◇ 原発で不安をかかえていることは、市民アンケートで85%再稼働反対という回答に示されている。議会の中でとりあげていきたい。所属している日本共産党は再稼働に反対。

(2) その他

- ◆ コミュニティバスで、土川から市街地に行くには、市街地に入る前に宮里団地を通るため時間がかかる。宮里団地方面は循環バスのルートにしてもらい、時間短縮ができないか。
- ◆ 70歳以上のお出かけ支援券が廃止される。市民に周知されていない。異論が出ている。弱者救済というなら廃止延期をしてほしい。
- ◆ 学校統廃合問題。原子力問題がある。寄田、滄浪は廃校となった。原子力があっても学校は廃止。不安だけ残り、寂れて行く。
- ◆ 避難道路問題を早急に解決してほしい。拡幅工事しても歩道ができない。いざとなったときに逃げられない。
- ◇ 所属している社民党も原発再稼働に反対。峰山しかないものをつくって欲しい。収益があるところでないと、コンビニ、道の駅も難しいのではないか。避難の問題があり、避難先を見に行った。2㎡に一人のスペース。6畳間に6人で避難生活をしなければならない。避難計画は実効性がない。避難計画の責任を負うのは薩摩川内市。今回の要望は、企画経済委員会の所管の問題が多いことから、委員会で取り上げていきたい。